

奈良国立大学機構と両大学の取り組みについて、
今回は、主に、1 月の動きを中心にお伝えします。

—————▼お知らせの種類▼—————

- A. 両大学共通イベント B. 奈良教育大学の取組
C. 奈良女子大学の取組 D. 才協奈良カレッジズ連携推進センター長から

//////////▼注目 Topics▼//////////

- 【A-3】X 線分光撮像衛星(XRISM)のファーストライトと運用状況 (1/5)
【B-2】国連ユネスコの ESD-Net 2030 グローバル会議にて附属中学校が発表
【C-5】酸素分子結合を用いた酸フッ化物正極の開発について (1/18)

//////////

- A. 両大学共通イベント

- 【A-1】機構アドバイザーの川人光男氏による「心・体の健康と脳科学」の講演
(11/29)

https://www.nara-ni.ac.jp/news/2023/240109_1.html

- 【A-2】機構アドバイザーの J.カセム教授による「インクルーシブ・コミュニケーション・デザイン」の講演 (12/5)

https://www.nara-ni.ac.jp/news/2023/240109_2.html

- 【A-3】X 線分光撮像衛星(XRISM)のファーストライトと運用状況 (1/5)

https://www.nara-ni.ac.jp/news/2023/240105_1.html

<開催案内>

○アドバイザーボードによる講演等の予定

https://naraportal.nara-ni.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=3653&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail (学内専用)

・藤垣裕子氏（東京大学教授）と辻篤子氏（中部大学特任教授）の対談「科学技術、社会、メディアの関係を考える」

場所：奈良カレッジズ交流テラス

日時：令和 6 年 3 月 4 日（月）14：00～15：30

・森 雅彦氏（DMG 森精機株式会社取締役社長）との対話企画「これからの社会で求められるリーダーシップ」

場所：DMG 森精機株式会社奈良商品開発センター（JR 奈良駅前）

日時：令和 6 年 3 月 13 日（水）14:00～16:00

B. 奈良教育大学の取組

【B-1】環境省主催の「環境教育・ESD 実践動画 100 選」に附属中学校の取組など選定（11/28）

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/01/20231128esd-jissen100.html>

【B-2】国連ユネスコの ESD-Net 2030 グローバル会議にて附属中学校が発表（12/18～20）

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2023/12/esd-net2030.html>

【B-3】近畿 ESD コンソーシアム成果発表会・実践交流会を開催（1/6～7）

https://www.nara-edu.ac.jp/ESDC/esd_sdgs/esd_2024_1_6-7.html

<開催案内>

○展覧会「密教寺院妙法寺と八幡信仰」

場所：奈良教育大学教育資料館

日程：令和 6 年 2 月 5 日（月）～2 月 8 日（木）10:00～17:00

https://www.nara-edu.ac.jp/mhme/news2024/01/2023_dentoubunka.html

○奈良教育大学音楽教育専修 卒業修了演奏会

場所：奈良教育大学講堂

日時：令和 6 年 2 月 3 日（土）開場 13:00 開演 13:30

<https://www.nara-edu.ac.jp/event/other/music-concert20240203.html>

○奈良教育大学アートスタンプラリー

場所：奈良教育大学講堂、奈良カレッジズ交流テラス、大和高田さざんかホール、奈良教育大学教育資料館

日時：令和 6 年 2 月 3 日（土）～3 月 9 日（土）

<https://www.nara-edu.ac.jp/event/other/r5art-stamprally.html>

○令和 5 年度奈良教育大学美術教育専修卒業修了展覧会（2/14～2/18）

場所：奈良カレッジズ交流テラス

日時：令和 6 年 2 月 14 日（水）～18 日（日）9:00～18:00

（最終日の 18 日（日）は 16:00 まで）

<https://www.nara-edu.ac.jp/event/other/r5art-gwe.html>

○公開講座「自閉スペクトラム症児者の心の理解と支援 学童期～青年期を中

心に」

場所：奈良女子大学 E108 教室

日時：令和 6 年 3 月 2 日（土）13:30～15:30

https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/2024/01/r5narayama_asd.html

○公開講座「誰もが「ここに居ていい」と思える学びの場づくりのためにインプロ（即興表現）を学ぼう」

場所：奈良教育大学 山田ホール

日時：令和 6 年 3 月 23 日（土）10:00～16:00（9:30 開場）

https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/2024/01/r5narayama_impro.html

C. 奈良女子大学の取組

【C-1】「アカデミック Week2023」を開催（11/28～12/18）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240111_1.html

【C-2】「日本学術振興会特別研究員学内説明会」を開催（12/19）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240111_2.html

【C-3】令和 6 年新年互礼会を開催（1/4）

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240105.html>

【C-4】第 18 回女性史学賞授与式を開催（1/6）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240116_1.html

【C-5】酸素分子結合を用いた酸フッ化物正極の開発について（1/18）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240118_1.html

【C-6】大学改革シンポジウム（一般社団法人国立大学協会との共催）を開催（1/20）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240122_1.html

【C-7】文部科学省消費者教育推進委員会委員長 上村協子先生による特別講義を実施（1/25）

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240126.html>

<開催案内>

○令和 5 年度奈良女子大学健康なら 21Step アップ事業「第 3 回フォローアップ研修会」

場所：大学会館（生協食堂 2 階）

時間：令和 6 年 2 月 17 日（土）13:00～16:00（受付 12:30～）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/pdf/20240129_1.pdf

○大和・紀伊半島学研究所 共同研究成果発表会

場所：奈良カレッジズ交流テラス（抽選 20 名／要申込）

オンライン（zoom／申込不要）

日時：令和 6 年 2 月 22 日（木）13:00～17:00

[https://naraportal.nara-](https://naraportal.nara-wu.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=4516&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail)

[wu.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=4516&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail](https://naraportal.nara-wu.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=4516&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail)（学内専用）

ミーティング ID: 985 6524 3434

パスコード: 363226

○シンポジウム「日本神話」

場所：奈良女子大学 Z306 教室（コラボレーション棟 3 階）

日時：令和 6 年 2 月 23 日（金・祝）12:30～17:30

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/pdf/20240125_1.pdf

※You Tube 「奈良女子大学けいはんな公開講座」 チャンネルにてライブ配信

3/1（金）18:00 までアーカイブ視聴可能

https://www.youtube.com/channel/UCt41KA5UMak2i6_L4BTLIHA

○第 3 回大学院生のためのジェンダー研究カンファレンス「目を凝らす、耳を澄ます、確かにそこにあるジェンダー問題」

場所：オンライン開催（Zoom）9 時開始（要申込：2/25 締切）

日時：令和 6 年 3 月 1 日（金）

対象：学部生・大学院生

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/pdf/20240123_2.pdf

○生活環境学部「卒業設計・修士設計発表会」および「卒業論文・卒業設計・修士設計作品展」

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/itiji/20240130.pdf>

- ・オープンジュリー（卒業設計・修士設計発表会）

場所：記念館 2 階講堂

日時：令和 6 年 2 月 9 日（金）12:45～17:15

- ・卒業論文・卒業設計・修士設計 作品展

場所：記念館 2 階講堂

日時：令和 6 年 2 月 10 日（土）、11 日（日）、13 日（火）

10:00～16:00（最終日は 13:00 まで）

- ・卒業論文 発表会

場所：E 棟 1 階 E108 教室

日時：令和 6 年 2 月 13 日（火）9:00～

・修士論文 発表会

場所：F 棟 5 階 人間文化総合科学研究科会議室

日時：令和 6 年 2 月 16 日（金）9:00～

○第 4 回研究交流会「足の下に何がある？地に学ぶ学問 なら学×陶芸」

（冒頭 30 分）原山教授と寺岡教授によるトークセッション

（12 時頃～）陶芸ワークショップ「土の触感でインスピレーションをいただく」

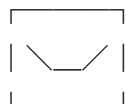
場所：奈良カレッジズ交流テラス

時間：令和 6 年 2 月 16 日（金）11:30～13:00

申込：以下 Google フォームより受付（先着 20 名程度）

<https://forms.gle/vJnhnLjxUUTkoVUz5>

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2023/20240216.pdf



D. 才協奈良カレッジズ連携推進センター長から

奈良カレッジズ連携推進センターは、連携教育開発センターや国際戦略センターとともに奈良国立大学機構に設置された、いわゆる法人直下の 3 センターの一つです。これらは奈良教育大学及び奈良女子大学双方の教育・研究を支援しつつ、両大学の融合的取り組みや広く社会との交流窓口としての役割を、それぞれ異なる観点から果たしています。

今回ご紹介する奈良カレッジズ連携推進センターは、奈良県および関西学術文化研究都市等の近隣地域に位置する大学、研究機関、教育機関、企業、自治体、地域住民等との連携・協働体制（産地学官連携）を構築し、それぞれの強みや人的・物的資源の交流による教育・研究インフラの強化を図ることで、「新たな総合的高等教育（奈良カレッジズ）の実現」をめざすものです。また、その成果を大学内における教育・研究にとどめず社会へ還元し、地域や社会が抱える課題解決に向けたイノベーション創出にも取り組みます。

・奈良カレッジズ構想

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/01_plan.html

・奈良カレッジズの組織

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/02_organization.html

具体的に奈良カレッジズを構成する組織は、奈良教育大学・奈良女子大学が中心となり奈良県内に存在する 4 国立機関（奈良国立博物館、奈良文化財研究所、奈良先端科技大、奈良工業高専）に県立 3 機関（奈良県立大・県立医大・橿原考古学研究所）を加えた「奈良カレッジズ中核機関」、包括連携協定を結ん

で共同授業を実施するなど大学の教育・研究に深く寄与する企業や自治体等からなる「相互連携機関（DMG 森精機、ソニー、ATR（国際電気通信基礎技術研究所）、下市町、下北山村、東吉野村等）」、奈良カレッジズ交流テラス（後述）など大学の施設を利用した教育研究活動に参画する等多様な形で連携を進める「協力機関」の3階層からなります。これら奈良カレッジズ構成組織を中心に、広く「産学官連携」と「地域連携」という2つの観点から連携活動を促進・支援するのがセンターの主要業務となります。

上述したように、奈良には多くの優れた大学や研究所、博物館等が広く分散して存在しています。また都市部から山岳地帯まで多様な暮らしが展開し、そこには我が国の淵源から今日に至る歴史が息づいています。こうした地域性に根ざしたユニークな企業も多く存在します。それらが手を携えることで、奈良だから実現できる深く広い学びあいを実現したい、学びあいの中から産まれる新たな視点・新しい発想を生かして、独自の伝統を守りつつ生活や産業の活性化を図りたい、単純に拠点集約された知識量で競い合うのではなく、自律分散型の動的関係性から産まれる質の高い知性を世に問い役立てたい・・・、「奈良カレッジズ」には、こうした願いがこめられています。

このような、ひと味異なる「産学連携」と「地域連携」の機能を実現・充実させるための交流活動を企画・実行する組織としてセンター内に設けられたのが、産業界・地域・学術機関・自治体との連携のハブ的役割を担う「産地学官連携プラットフォーム」、地域ニーズに応じたリカレント教育を推進する「リカレント教育推進」、異分野交流促進によるイノベーション創出を図る「NU cross（ニュークロス）」の各担当です。以下、それぞれについて簡単にご紹介します。

まず、「なら産地学官連携プラットフォーム」は、奈良県内の産業界、地域・住民、高等教育機関、地方公共団体等が連携・協働し、新たな価値を生み出す基盤の構築と可能性を広げるとともに、各機関・団体の特色を活かした共創・イノベーションを推進して、新産業の創出や地域課題の解決・活性化に取り組み、地域力・産業競争力の一層の強化を図ることにより、奈良の魅力度を高め、奈良への学生・若者の定着や人材・投資の流入等を促進することを目的としています。そのため産学官が中心の奈良カレッジズメンバーに加えて、「地」を代表する奈良県、奈良市といった地方公共団体、奈良県商工会議所連合会や経済同友会をはじめとする地域の経済団体を含んだ構成になっています。

さる令和5年11月16日には奈良ロイヤルホテルにおいて、なら産地学官連携プラットフォーム第1回総会を開催し、規約の確認や今後の取り組みなど幅広い意見交換が闊達に行われる有意義な会となりました。

・産地学官プラットフォーム

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/platform/

・第一回総会の様子

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2023/20231116/20231116.html

現在、このプラットフォームを基盤として、地域ニーズに応じた人材育成に

取り組む、なら産地学官リカレント教育プログラムや、学生による地域創生活動を支援する、なら「学生・人・まち」プロジェクトなどが始まっており、今後の広がりが期待されます。また、NEDO や JST などと連携したスタートアップの支援基盤構築やプロジェクト創出、「奈良型エクステンション」と名付けた教育・研究・事業創生の地域拠点のモデルづくりもプラットフォームを有効活用して進められています。

例えば、なら産地学官リカレント教育プログラムは文部科学省の採択を受けた「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に基づく活動です。産地学官の幅広い関係機関の連携により、DX、コアスキル（問題発見・解決力等）等の講義を通じて、地域経済の活性化、雇用創出、女性活躍、経営革新等に寄与する人材を継続的に育成する枠組みの構築を目指しています。今年度は10月11日にトライアル講義を10講座実施し、のべ120名以上の受講者が参加しました。その多くは、奈良県下の企業や自治体職員などの社会人でした。2024年1月25日には「みんなで考えるリカレント教育」という総括シンポジウムをホテル日航奈良で開催し、会場を埋める参加者に対して文科省リカレント教育の担当室長が講演を行うなど、盛況のうちに幕を閉じました。来年度からは本格的に始動するため、運営を担う「リカレント教育推進担当」がセンター内に設置されています。

- ・なら産地学官リカレント教育プログラム

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/

- ・トライアル講義

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/trial.html

- ・「みんなで考えるリカレント教育」

http://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/news/2023/20240125.pdf

また、「奈良型エクステンション」とは、大学と社会（地域）との連携をより深め、幹の太いものにしていく仕組みです。大学と地域は、ともに社会のパートナーです。一つの地域と、＜教育＞、＜研究＞、＜事業創生（「なりわい」づくり）＞の3つの領域で協力し、いくつもの取り組みを同時並行で実施していきます。その拠点となるエクステンションセンター（教育・研究・事業創生の地域拠点）のモデルづくりのため奈良県南部の3拠点に特任教員が常駐し、地元自治体の協力を得ながら活動しています。「奈良型エクステンション」の取り組みについては、2024年3月25日13時30分より奈良カレッジズ交流テラスにて報告会が開催されますので、是非ご参加ください。

- ・奈良型エクステンションのブログ

<https://nara-extention.hatenablog.com/>

- ・参加申込

<https://forms.gle/XYvsbbJjV9EpYCtH8>

最後に、この報告会の会場となっている「奈良カレッジズ交流テラス」を運営している「NU cross」をご紹介します。この「NU」は Nara（奈良）の“N”、Universities（機構の両大学）及び Unite（つながる、つなげる）の“U”の意味、さらに、New（新しい）という意味も含まれています。また、「cross」は、異なる文化や分野等が交流することを意味しています。このように、奈良教育大学及び奈良女子大学に所属する教職員や学生・院生が幅広い分野に亘って研究や研修を進め、また専門分野を越え学際的な相互啓発と協働を進める奈良カレッジズの活動を象徴して名付けられた組織名です。もちろん、2大学間だけでなく、奈良カレッジズとして連携する教育・研究機関、企業、自治体の関係者との間で組織の壁を越えた相互の啓発や協力を進め、異分野交流、異世代交流、異組織間交流、異国間交流などの知的交流を推進していきます。

この「NU cross」の主な活動場所として法人本部棟 1 階に設けられたのが「奈良カレッジズ交流テラス」で、両大学に所属する教職員や学生・院生の専門分野を超えた交流をサポートし、教職員同士や地元企業とつながるコミュニティを育むものです。従って、単に講演会や学術ミーティングだけでなく、企業のセミナー、学生の研究成果や美術品の展示、エクササイズ、趣味の交流会まで幅広いコンテンツが展開されています。

・ NU cross 及び奈良カレッジズ交流テラス

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/04_nucross.html

以上、駆け足で「奈良カレッジズ連携推進センター」の取り組みをご紹介します。他にも、ここではお伝えしきれない様々な活動を実施していますので、ご関心のある方は是非、身近なセンター員や窓口にお声がけいただければ幸いです。機会があれば、何らかのイベントに参加いただいたり、あるいは産地学官連携機能をご利用いただいた上で、将来のセンターのあり方や改善点などについても、忌憚ないアドバイスを賜りますようお願い申し上げます。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲

バックナンバーは以下よりご覧いただけます。

<http://www.nara-ni.ac.jp/news/narakoku/index.html>

また、学内掲示板以外のメールでの配信をさせていただいている方で、配信停止をご希望の方は、お手数ですが、somu02@jimu.nara-wu.ac.jp まで、その旨お知らせください。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲